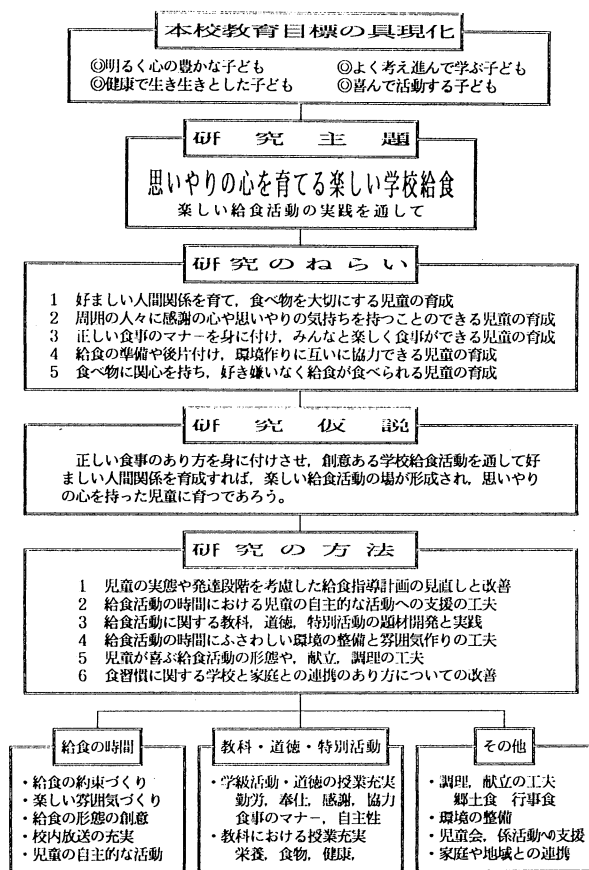


## 研究の構想



(二) 毎日の給食時間を通して、進んで活動し協力する児童をほめたたえ、活動のその場で助言等を与えることにより、楽しい給食活動をめざす児童の自主的な取り組みが見られるようになった。

(三) 児童が自分の健康を考えた食事に関心をもち、勤労・奉仕・協力・感謝の気持ちを持って、主体的に給食活動に取り組むための題材を開発して指導にあたってきた。家庭科や保健などの教科で得た知識を、また、道徳や特別活動で得た実践意欲を実際に生かす場として給食活動が行われ、思いやりの心

(四) 給食の時間にふさわしい環境の整備や雰囲気作りを工夫してきた。その結果、正しい栄養知識や食事のマナーを身に付け、楽しい雰囲気の中で給食を通して、思いやりの心を持って活動する児童が増えてきた。

(五) ふれあい給食や友達給食、ミニバイキング等、児童が喜ぶ給食活動の形態や献立・調理の工夫に努めてきた。その結果、給食を心待ちに

に育てる楽しい給食となった。特に、「献立に基づいた指導計画」は、毎日の給食指導に非常に有効であった。

(六) 保護者を対象とした給食試食会により給食に関心をもち、家庭が学校と連携が生み出された。

五、今後の課題

(一) 給食の時間における児童の活動については、児童の発達段階を考慮し、教師の手を離れた自主的な活動がさらに拡大するよう見守っていかねばならない。

(二) 給食の形態や献立・調理の工夫に継続して取り組み、児童の意見や要望を取り入れながら楽しい給食のあり方について研究を深めていかなければならない。

(三) 学校と地域、家庭との連携については、保護者の要望を生かして共に給食のことを考える方策について模索し、さらに深めていきたい。

## 献立に基づいた指導計画

給食指導の目標 ○学校給食を通して、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣形成に努める。 ○楽しい給食を体験することにより、学校生活をめかし、好ましい人間関係を育成していく。 ○食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進に関心をもち、進んで実行できる児童を育成していく。													
1月 月別指導目標			食事作法を身につけよう										
★ 低学年			よい姿勢で食べることができる。										
★ 中学年			感じよい食べ方ができる。										
★ 高学年			正しい作法を身につけ、楽しい食事ができる。										
日・曜日	献立	献立のねらい	献立に関連した指導内容(学級担任が、学校の実態に応じて、選択して指導する)						学校栄養職員の指導の場			連	
			楽しく食事すること	健康によい食事のとり方	衛生と安全	食事と環境の整備	食事と文化	勤労と感謝	学級活動の時間	学校行事	給食委員会		教科との関連
11月	新設アール・フランス 牛乳 コールスローサラダ	チャーハンとスープの取り合わせのよさを知る。	話をすまぬ時のマナー	三食きちんと食べる	爪をきれいに	環境の整え方	チャーハンの作り方	地場産のキャベツ	給食のおねだり(15分)	毎日の活動(給食) 献立 牛乳瓶	(各) 1~4年	マスク調べ	